



東地中海地域ニュース

イスラエル：ガザ情勢・武器輸出問題

(1月22日現地各紙)

1. フィラデルフィ回廊の密輸トンネル

- (1) フィラデルフィ回廊におけるトンネル経由の密輸入は、イスラエル空軍による何百回もの攻撃にもかかわらず、戦闘中も継続しており、現在では増加している。イスラエル空軍は強力なバンカーバスターではなく、通常爆弾を使った。これらのトンネルは、木で補強されており、空爆にも耐え、現在では修復作業が進められている。
- (2) 密輸に携わるベドウィン住民は、「ここには他の稼ぎ口がない。国境沿いに家屋や土地を所有する者は全てトンネルを掘っている」と語った。ラファ地区の住民は、片道一人当たり 400 ドルで、IDF の攻撃による負傷者を支援するドイツ人医師グループをトンネル経由で入域させたこともあると述べた。
- (3) 昨 21 日、元在イスラエル・エジプト大使でエジプト国会外交防衛委員長が、アル・ハヤット紙に述べたところ、エジプトはイスラエルとの間で、フィラデルフィ回廊における駐留兵士の数を倍増させる協議を行っており、エジプト政府としては、1500 名に増加させることを要請している。

2. 海上からの密輸

20 日夜、イスラエルとの間で交わされたガザへの武器密輸輸入阻止に関する支援の枠組みの下、アメリカ海軍は、武器を満載し、ガザのハマスを仕向先としたイラン船籍を紅海において拿捕した。アメリカ海軍は、船内を調査したところ、多くの軍需品と「危険物」と書かれた箱を発見した。その後、エジプト政府に対して、スエズ運河を通過し、地中海に出る前に厳格な検査を行うよう要請した。また翌 21 日には、オバマ新米大統領とオルメルト首相との会談の中でガザへの武器密輸輸入阻止が取り上げられた。

3. 密輸問題への対応

22 日、アモス・ギルアド国防省軍政局長は、イスラエル・ハマスの停戦維持及びガザへの武器密輸問題に関してソリマン GIS 長官等と協議するためエジプトを訪問する。21 日、政府筋は近日中にイスラエルとエジプトはガザへの武器密輸の問題を取り扱う合同委員会を開催すると述べた。